

## 令和8年度愛知県特別支援学校介護等体験実施要項

愛知県教育委員会

### 1 目的

この要項は、愛知県の特別支援学校（以下「学校」という。）において「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（平成9年法律第90号）」に規定する介護等の体験（以下「介護等体験」という。）を円滑に実施するため、必要な事項を定める。

### 2 対象者

介護等体験の受入れは、次に掲げる各号のいずれにも該当する者（以下「体験生」という。）に対して行う。

- (1) 大学、大学院又は短期大学（以下「大学」という。）に平成10年4月以降に入学し、小学校又は中学校の教諭の普通免許状取得予定の者（聴講生を含む）
- (2) 将来教員を志望する者
- (3) 教員としての適格性を有する者
- (4) 障害のある子どもの教育に対する理解があり、障害者に対する配慮のできる者

### 3 対象学年

4年制大学については2年次又は3年次、短期大学及び大学院については1年次又は2年次とする。ただし、大学の事情で対象学年を変更したい場合は調整を行う。

### 4 介護等体験実施計画書の報告

特別支援学校長（以下「校長」という。）は、介護等体験の内容を児童生徒の介護、介助又は交流活動等から適切に定め、4月末日までに「介護等体験実施計画書（様式1）」を作成し、県教育委員会及び介護等体験の取りまとめの校長（以下「代表校長」という。）に電子データで報告する。

- (1) 実施日数は、各体験生とも「2日」とし、1日単位で実施する。また、実施回数は学校の実情に応じて適切に定める。
- (2) 体験期間は原則として9月から12月の間に実施し、休業日には実施しない。

### 5 介護等体験希望者数の報告

- (1) 各大学は、介護等体験希望者数を取りまとめ、介護等体験の調整窓口となる代表大学（以下「代表大学」という。）が別に指定する期日までに電子データで報告する（様式2）。
- (2) 代表大学は、各大学の介護等体験希望者数を一覧にまとめ、4月末日までに代表校長に電子データで報告する（様式3）。

※ 例年、辞退者が出ている現状があり、その手続きのため円滑な運営に支障が生じている。希望者数の報告に当たっては、事前に学生の意向を十分確認した上で提出すること。

### 6 介護等体験受入れ学校の割振り

代表校長は、各大学の介護等体験希望者数と所在地を考慮し、介護等体験希望者数一覧（様式3の別表）に介護等体験の受入れ学校の割振りを行い、6月末日までに各学校へデータで送付する。

### 7 介護等体験の大学への通知

- (1) 代表校長は、各学校の受入れ学校名等を記入後の介護等体験希望者数一覧（様式3の別表）を、6月末日までに代表大学に電子データで送付する。
- (2) 代表大学は、介護等体験希望者数一覧（様式3の別表）に基づき、介護等体験希望者数一覧（様式3の別表）の写しを、令和8年7月3日（金）までに各大学に送付する。

## 8 申込み方法

- (1) 各大学は、受入れ学校と連絡調整を図りながら、「申込書（様式4）」を作成し、7月末日までに各校長あて郵送で申込みを行う。
- (2) 学生個人による申込みや問い合わせは、原則として受付けない。

## 9 実施校の留意事項

校長は、介護等体験の実施にあたっては、児童生徒に事故等が生じないよう万全の措置を講ずる。

## 10 記録簿の作成

- (1) 校長は、介護等体験の記録簿を作成し、これを保存する。
- (2) 記録簿には少なくとも次の事項を記載する。
  - ① 氏名及び年齢
  - ② 在学する大学名、学部、学科及び学年
  - ③ 体験の実施日
  - ④ 体験の概要

## 11 介護等体験の証明

介護等体験実施後、校長は、介護等体験を行ったことを証明する。ただし、体験生としてふさわしくない者については、証明しないことがある。

なお、証明書の学校印の押印については、法令に準じて従来どおりとする。

## 12 実施報告

校長は、終了後すみやかに当該年度の「実施報告書（様式5）」を県教育委員会及び代表校長に電子データで報告する。同時に、「申込書（様式4の別表）」の実施済欄に○を記入し、その写しを該当大学に郵送する。

## 13 大学の責務

- (1) 大学は、介護等体験に支障が生じないように、実施校と十分な打合せを行う。
- (2) 大学は、介護等体験実施にあたって、体験の心得を含め、十分なオリエンテーションを行う。
- (3) 介護等体験日には、学生証を必ず持参するよう指導する。
- (4) 証明書の作成は、記入例を参照して必要事項を事前に記入し、介護等体験終了後に一括して実施校に送付する。その際、返送用のレターパック（宛名記名）を同封する。
- (5) 介護等体験に参加できなくなった学生について、大学は「欠席届（様式6）」を校長あて郵送で提出する。
- (6) 大学は、実施校における児童生徒の事故等に備え、学生に対して任意の保険への加入を義務づける。
- (7) 非常変災により介護等体験日の変更もありうるため、学生への連絡が十分とれる態勢を整えるとともに、事前に実施校と十分な打合せを行う。

## 備考

令和8年度愛知県特別支援学校介護等体験の取りまとめ校長は愛知県立三好特別支援学校校長である。